

としゃレポート

2014年11月号

E-メール...nakatatoshiya015@gmail.com

発行 : 日本共産党大垣市後援会
 発行日 : 2014年11月1日 第6号
 連絡先 : 大垣市室本町5-8
 Tel 78-6865 Fax 73-8572

部
内
資
料

<中田区域>
 江並中・南中・東中
 北中・星和中・赤坂中
 宇留生小・墨俣全域



中田としゃの市政ウォッチング

9月30日に、笹田トヨ子市議が日本共産党会派として、27年度予算要求に基づき大垣市長交渉を行いました。市長や各関係部長と意見交換を行なったうち、公共交通政策・子どもの貧困について、笹田市議からの報告です。

減り続ける鉄道・バス利用者。公共交通をどうする？

公共交通機関支援事業に2億円

高齢化とともに買い物難民が増えています。一方、市は公共交通機関に年2億もの補助金を出していますが、利用者は増えず、効率の良い方法はないかとの声も出ています。

下の表の通り、路線バスの大半が不採算路線になっており、市が1億1251万円の補助金を出しています。また、養老鉄道及び樽見鉄道においても、運営補助金など約65

00万円の補助を出しています。

養老鉄道の公有民営方式を提案される

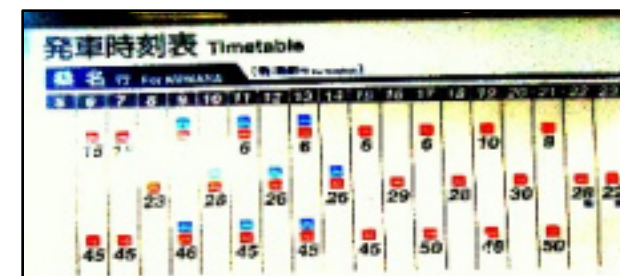
この9月議会の中で、近鉄は養老鉄道の「公有民営方式」を提案していることが明らかになりました。平成18年に近鉄養老線を上・下に分離し、近鉄の子会社である養老鉄道会社が運行・営業業務を行なっていました。今回近鉄の提案は、近鉄所有の線路など鉄道施設をそれぞれの沿線自治体

所有とする提案で、全国ではまだ2~3例しかないようです。養老鉄道は赤字路線とはいえ、高校生等の通学や沿線自治体住民は養老鉄道で大垣市に来ているわけで大切な鉄道です。

「市民参加による協議会設置を」提言も市は消極的姿勢

地域交通は、高齢者の移動の確保だけでなく、まちづくり、生徒の通学保障と安全対策、地域コミュニティづくり、あらゆる人々の課題です。

市の地域交通の現状を見直し、総合的に検討する時期に来ていると思い、「市民参加による協議会を設置し、本格的に総合交通政策を検討しては」と提案しましたが、市当局の姿勢は大変消極的でした。(笹田)



としゃの現地レポート 養老鉄道に乗ってみた

JR東海道線・美濃赤坂支線・樽見線・養老線と鉄道網の充実した大垣市だが、車社会の現代では、経営の難しい各路線。

親会社が公有民営化を訴えているという養老線も、7年前に養老鉄道株式会社が近鉄の子会社として引き継いで以来、沿線自治体の補助を受けながら、サイクリング列車を走らせたりして経営の努力を重ねていますが、1日3千人を多くは超えない利用者です。

10月18日午後5時50分、大垣発桑名行きに乗車。車両は2両。私の乗った車両には平均年齢20才ほどの乗客43人。片手にスマホ、片手にユニクロの袋を持った若者など。この車両では、友江で初めて4人が降り、大垣南高校のもよりの駅になる大外羽では5人が降りていました。ここが大垣市最後の駅になります。残る30人超の方は養老以南の方。ここまで11分！車と違い信号もないし早い！

帰りの大垣方面行きでは、乗客の平均年齢は50才くらいか。大外羽時点で車両内は20人あまり。週末の学生の遠出や飲み会前の足になっていると実感しました。

利用者の声を集めたいと思います。利用されている方、ご意見をお寄せ下さい。

(単位千円)

区分	総事業費	補助負担額
(1) バス関連支援事業 16路線 40系統	199,820	142,385
自主運行バス運行費負担 11路線 33系統	129,021	112,512
地域間幹線系統確保維持補助金 5路線 7系統	53,848	27,973
地域公共交通バリア解消促進等事業補助金	16,951	1,900
(2) 鉄道関連支援事業 2路線	941,288	65,005
養老鉄道運営補助金ほか	789,795	54,530
樽見鉄道運営補助金ほか	151,493	10,475

平成25年度決算資料の公共交通機関支援事業の一覧表

子どもの貧困の連鎖を断ち切るために



厚労省の発表では、相対的貧困率も子どもの貧困率も過去最悪の状態、6人に1人は貧困状態です。この貧困の連鎖を断ち切るため、子どもの教育等にしっかり予算をつけることが必要で、来年度予算要望で、「育英資金の奨学助成金の増額」と「給食費の無料化を国に要望して欲しい」と求めました。

大垣市の育英資金助成制度は、学費の支払いが困難な家庭に対して大学生や高校生などに奨学助成金の交付や奨学資金の貸付を行うものです。この大垣市育英資金助成に関する条例は、昭和41年に全部改正で制定され、助成金2500円の給付と22,500円の貸し付けるものです。その当時、国立大学の学費は12,000円/年額の時代でしたが、現在は何十倍にもなっています。しかも、「奨学金返済に行き詰まり自己破産」とか「夫婦で奨学金返済中で子どもを諦めた」など、奨学金の借金苦で苦しんでいる事態となっています。

国民の立場で真実を伝え続ける
しんぶん赤旗をお読みください。
日刊紙...3497円 日曜版...823円

今は奨学資金を借りるにも、返済の見通しがなければ借りることも出来ません。せめて大垣市の育英資金の助成額を2倍に増額してはどうかと求めましたが、「検討課題」で終わりました。

9月25日、NHKのクローズアップ現代で子どもの貧困問題が取り上げられました。「夏休みが終わる頃、体重が減る子どもがいる」とのこと。学校給食が唯一の栄養源である子ども達が存在し、今や学校給食の役割は大変重要になってきています。昨年も予算要望の中で、給食費の無料化を提案しましたが、大垣市の場合、無料化するためには7億円の予算が必要ということで、すぐには実施が難しそうでした。今年は国に対して要望するように求めましたが「研究課題」という答弁でした。(笹田)

楽しめた「2014赤旗フェスティバルぎふ」

10月19日青空のなか、久しぶりの岐阜での赤旗フェスティバルで大勢の人が集まりました。午前中、私は金公園野外ステージで司会をしました。文化



私も奨学金を返済中の身です。総額240万円。月1万3000円を180回払うことになります。払い終わりは37才になる予定。奨学助成金の増額や学費無料化になれば効果は抜群であろうと身を持って感じます。

さて、現在の子どもや保護者の置かれている状況はどうでしょうか。小学生の放課後の生活を保障することを通じて、保護者の働く権利と家族の生活を守っている学童保育を来月、訪問する予定です。子育て世代は同世代ということもあいいり、関心を寄せています。子ども、子育て支援策について、ご要望をお寄せ下さい。



ホールでの記念式典で来年の一斉地方選挙立候補者として紹介を受けた後は、参加者とともに佐々木憲昭衆院議員の記念講演を聞きました。



お知らせ
安倍自公暴走政権に
レッドカードを!

日本共産党演説会

党国会対策委員長
穀田恵二衆院議員きたる

とき...2014年12月14日(日)
午後1時30分

ところ...岐阜市文化センター

主催 日本共産党岐阜県委員会

としやの活動日誌

10月活動報告

- 2日 バスケットボール練習
- 5日 ハツラツ市にフリマ出店
- 10日 投票率向上プロジェクト
- 12日 バレーボール練習
- 18日 墨俣街宣
- 19日 赤旗フェスティバル
- 24日 介護問題学習会
- 25日 議会報告会
- 26日 ソフトボール練習

11月活動予定

- 2日 地域のお祭りに出店
- 3日 KENS CLUBに参加
- 6日 ワールドカフェ講座
- 9日 フットサル大会に参加
- 11日~13日 沖縄県知事選挙応援
- 16日 まるごとバザールに出店
- 22日 友人結婚式